

2025 年 07 月 02 日

高次救命治療センターの外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「岐阜県における病院前外傷診療に関する情報を用いる研究」への協力をお願い

下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016 年 07 月 01 日～2023 年 06 月 30 日の間に、救急車で搬送された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 03 月 31 日

研究目的・利用方法：救急車による救急搬送は、迅速な治療のために不可欠なものです。

病院前の時間を短くすることで予後を改善する効果があるといわれています。岐阜県では独自のプロトコルを用いて病院前診療を行っています。今回我々は、この独自のプロトコルの有用性を明らかにすることを目的として、本研究を計画しました。本研究を行うことで、今後の病院前診療の質を向上できる可能性があります。

研究に用いる情報の項目：救急隊の搬送記録および検証表から年齢、性別、診断名、処置行為、時間経過、事故概要、状況評価、解剖学的評価、固定方法、接触時バイタルサイン、搬送中バイタルサイン、病院到着時バイタルサイン、30 日転帰などの情報を得ます。これらはすべて日常診療で実施される項目です。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 4 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：市橋 雅大

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：市橋 雅大

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp